

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼらいと 亀戸 (児童発達支援事業)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケアを必要とする重症心身障がい児を受け入れる体制が整っており、看護師を含む多職種による連携が事業所の大きな強みであると考えます。 今後は、職種間の情報共有や支援の標準化をさらに進めることで、より質の高い一貫した支援の提供が期待されます。	ご家族が安心して利用できるよう、日々の様子や体調変化について丁寧に伝えることを心がけています。 また、ご家族の思いや不安を共有し、支援に反映できるよう、日常的なコミュニケーションを大切にしています。	職員研修や振り返りの機会を継続的に設け、支援の質の向上と体制の充実を図っていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の高い支援を必要とする事業所であるため、人材の確保や育成に時間を要する点が課題だと感じています。 今後は、職員が安心して学び成長できる体制づくりが必要だと考えています。	日々の支援において安全面を最優先に対応しているため、業務が集中しやすく、振り返りや研修の時間を十分に確保しにくいことが課題の要因となっています。	職員一人ひとりが安心して支援に取り組めるよう、相談しやすい環境づくりやフォロー体制の充実が必要だと考えています。 継続的な研修やOJTを通じて、人材育成に力を入れていくことが重要だと感じています。
2			
3			